

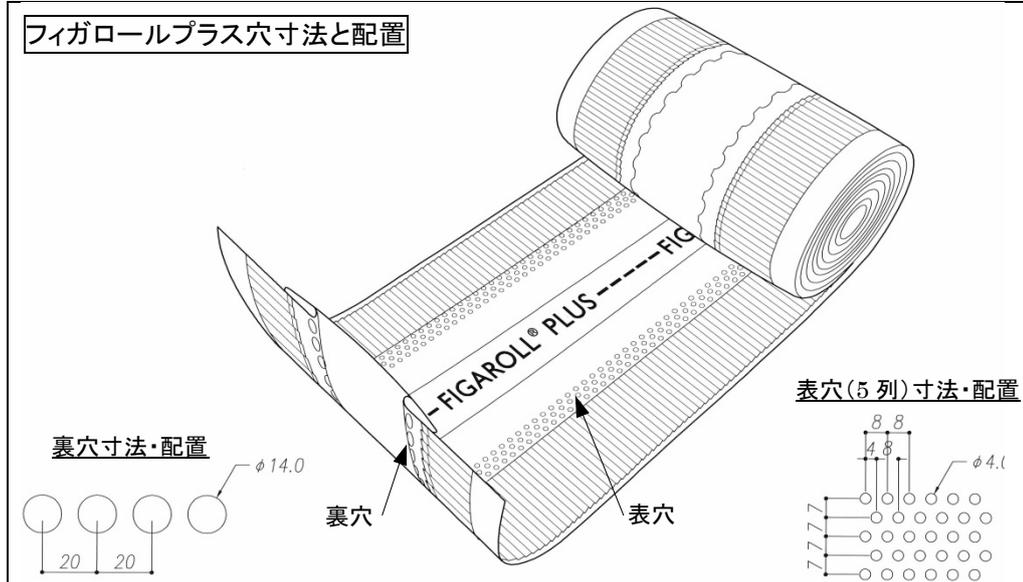
フィガロールプラス 『換気孔面積と小屋裏換気の適応』について

1. 換気孔面積について

フィガロールプラスは表裏の通気孔の大きさおよび配置が異なっているが、換気面積はその小なる物を採用します。

(1) 通気孔面積の計算（：下図参照）

- ① 表孔 = $(0.2\text{cm})^2 \times \pi \times 5 \text{列} \times (100\text{cm} \div 0.8\text{cm}) \times 2 \text{面} = 157.08 \text{ c m}^2/\text{m}$
- ② 裏孔 = $(0.7\text{cm})^2 \times \pi \times (100\text{cm} \div 2\text{cm}) \times 2 \text{面} = 153.94 \text{ c m}^2/\text{m}$



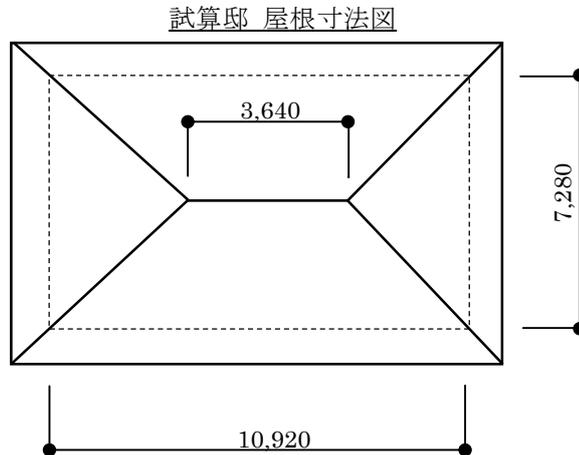
(2) 換気面積

上記①と②を比較し、表孔 157.08 c m²/m > 裏孔 153.94 c m²/m により、その小なる裏穴の 153.94 c m²/m [: 0.015 m²/m] とする。

2. 小屋裏換気の適応について

(1) 物件の小屋裏面積と、小屋裏頂部に設ける排気のために必要な換気孔面積

- ① 小屋裏面積
： $10.92\text{m} \times 7.28\text{m} = 79.5 \text{ m}^2$ (:A)
- ② 排気のために必要な換気孔面積
： $79.5 \text{ m}^2 \div 1,600 = 0.049 \text{ m}^2$ (:B)



(2) フィガロールプラス適応の可否

(A) フィガロールプラス使用時の『対応可能な小屋裏総面積』より判定

= 換気孔面積 $0.015 \text{ m}^2/\text{m} \times$ 棟長さ $3.64\text{m} \times 1,600 = 87.36 \text{ m}^2$

試算邸の小屋裏面積 79.5 m^2 (:A) < フィガロールプラスの対応可能な小屋裏総面積 87.36 m^2 により適応可能。

(B) 『排気のための換気孔総面積』より判定

= 換気孔面積 $0.015 \text{ m}^2/\text{m} \times$ 棟長さ $3.64\text{m} = 0.0541 \text{ m}^2$

試算邸に必要な換気孔面積 0.049 m^2 (:B) < フィガロールプラスの換気孔総面積 0.0541 m^2 により適応可能。